



# まちの話題

特集

タウントップニュース

HOOTーく

情報ピックアップ

市政リーダー

インフォメーション

おでかけ相談

はぐくみ

街かどリポート

栄光輝く

まちの話題



## 認定新規就農者に認定（5月8日）

白川真衣さん、ONEBEANS 合同会社の村上玄一さんが認定新規就農者に認定されました。白川さんは実家の農業経営を継承し、水稻を中心に規模を拡大されます。「SNS を活用した『顔の見える農業』で若い人の農業に対するイメージを変えたい」と熱く語られました。村上さんは生産に加え、自家栽培米やぶどうの加工にも取り組まれます。「農産物の付加価値を高めて農家が安定収入を得られる流通システムを構築したい」と意気込みを話されました。

## 丹波篠山の建築を未来へ（5月27日）



株式会社大市住宅産業の代表取締役大前裕樹さんと創業者である大前裕さんから、市内中学校の技術・家庭科の技術分野の備品購入費用として、50万円ずつの寄付がありました。大前裕樹さんは「建築に興味を持つ子どもたちが増えてほしい」と話しました。

## 丹波の昔話を後世へ（5月25日）



丹波昔ばなし大学再話研究会発行の書籍「むかしあったんやてー兵庫と外国の昔ばなし集ー」が、同研究会から市内学校および中央図書館などに寄贈されました。研究会代表の今西茂子さんは「昔話は人を幸せにする。次の世代に語り継いでいきたい」と話しました。

## まほろば水路で生き物調査（5月28日）



武庫川女子大学環境共生学部の生徒が、地域の生物多様性や環境保全の実践を学ぶため、「農都のまほろば水路（ヨシキモデル）」で生き物調査を行いました。豊かな自然の中で育まれる生き物に触れながら、学びを深める良い機会となりました。

## 瑞宝単光章

おがわ まさし  
小川 雅さん（住吉台）



## 功績＝警察功勞

親戚に警視庁勤務の方がおり、その話を聞く中で警察官の仕事に魅力を感じ、この道を志した小川さん。昭和45年に大阪府警察本部に入庁され、城東警察署に配属されました。府内の各警察署の地域課で勤務し、主に交番勤務に従事。地域住民に寄り添いながら、安全・安心なまちづくりに尽力されました。「誰にでも優しく接する」ことを心掛け、交番を訪れる人の不安を和らげられるよう丁寧な対応に努められました。「人に喜ばれ、感謝されることが一番うれしかった」と当時を振り返られます。受章には、「栄誉ある章を受章し、大変光栄です。定年まで勤め上げることができたのは、妻の支えのおかげです。とても感謝しています」とその喜びを話されました。

## 瑞宝単光章

やまうち たいぞう  
山内 泰三さん（春日江）



## 功績＝消防功勞

篠山市消防司令として36年間、消防行政の発展に貢献されてきた山内さん。昭和53年に多紀郡一部事務組合消防本部が設立されたことがきっかけで、人のために役立つ仕事がしたいと、翌年消防本部に入庁されました。主に救急現場での業務を担当し、迅速な応急処置や医療機関への搬送を行われてきました。また、新たに救急救命士の国家資格が創設されると、すぐに国家資格を取得し、医療機関との連携に取り組まれました。「阪神淡路大震災の応援で、被災現場を救急搬送したのが一番の思い出」と振り返られます。「人のために働き続けた結果、こうして叙勲を受章できたことは大変光栄に思います。今後は、これまでの経験を地域で生かし、社会に貢献していきたい」と話されました。

## 味間愛育班 班長

こすぎ としこ  
古杉 淑子さん（大沢）



平成11年から愛育班の班員として、平成21年からは班長として活動が続けてこられた古杉さん。ひとり暮らしの高齢者宅を訪問する「声かけ訪問」を中心に、高齢者施設への訪問や、地域の高齢者がいつまでも元気に過ごせるよう、地域の行事に積極的に協力しています。「活動をしていると必然的に交流が生まれ、人の輪が広がっていきます。班員に恵まれ、みんなと一緒に目の前の事柄にコツコツ取り組んできました」と振り返る古杉さん。「ここ数年は、高齢者に向けた活動が多かったのですが、原点に立ち返って子どもとの交流を増やし、若い世代の人につないでいきたい」と今後についての意気込みを話されました。

危険業務従事者叙勲

# 栄光輝く

長年の功績や日々の努力を実らせ  
栄光に輝いた皆さんをご紹介します

社会福祉法人恩賜財団  
母子愛育会会長表彰

わが家のアイドル  
募集中です！  
申し込みはこちらから



## わが家のアイドルを紹介します

たなかゆいと  
田中佑弦ちゃん  
2歳(味間奥)

新しい帽子にリュックを  
背負って登山にでも行くの  
かな？  
少し照れくさい表情がイ  
イね！



IDOL in my family

ながやまなつめ  
長山夏芽ちゃん  
1歳(乾新町)

音楽だいすき♪お歌だ  
いすき♪お家の中では歌  
って笑って賑やかななっ  
ちゃん、できることや喋  
れる言葉もどんどん増え  
てきたよ☆



漫画しるし  
「楽しい図書館 ぶら〜とサンデー」



## ふるさとの貴重な動植物

クロスジギンヤンマ(ヤンマ科)



平地から低山地の木々に囲まれた小・中サイズの池や沼に多く生息し、春先最も早く姿を現すヤンマです。ゴールデンウィーク前後には既に成虫がみられます。昆虫採集が盛んになる真夏には姿を消すので、見逃すことが多いようです。

成虫は緑色・黒を基調とした中型からやや大型で、国産ギンヤンマ4種の中で唯一、胸部に明瞭な2本の黒条を持ちます。初夏になると、一気にギンヤンマと入れ替わって見られなくなります。

オスのクロスジギンヤンマは水面を不規則に飛び回って縄張りを見張ります。飛行ルートが不定な上、ホバリングを交えずにフラフラと飛び続けます。

丹波篠山自然塾・むしクラブ代表 おおつかごうじ 大塚剛二さんの協力

★詳しくは、30・31ページをご覧ください。

## トライやる・ウィーク (6月1日～5日)

この記事の  
原稿と写真  
撮影を担当  
しました！



篠山中学校2年  
山下実沙希さん



吉田さん

和田さん

▶インタビューを受けている様子

市内各中学校でトライやる・ウィークが実施されました。6月1日、コーナンへ取材に行き篠山中学校から来られた2人の参加者にインタビューをしました。

「なぜこの事業所を選んだのですか」という質問に和田さんは「いつも通っているお店で、接客をしてみたいと思ったからです」、吉田さんは「いつも通っているお店で、仕組みを知りたいと思ったからです」と答えられました。

このトライやる・ウィークを通して和田さんと吉田さんは「学校でもちゃんとあいさつができるようになりたい」「いろいろな人と関わりを持ちたい」と意気込みを話しました。

## 水害に備え救助訓練 (6月5日)



梅雨時期の水害出動に備え、兵庫県篠山警察署と市消防本部との合同で、水難救助訓練を川代ダム(大山下)で行いました。訓練では、指令を受けた消防隊員と警察署員が連携し、ゴムボートを用いて行方不明者の捜索と救出活動を実践。相互の協力体制と連携手順の確認を行いました。

## アフリカ諸国から農業視察 (6月9日)



JICA 筑波が行う開発途上国に対する水稻栽培技術や普及手法を学ぶ研修で、アフリカ諸国の農業改良普及員が市の農業政策や生産組合が行う集落営農の取り組みを視察しました。

(農)西谷生産組合との意見交換は、持続可能な農業運営を考える貴重な機会となりました。

## 波々伯部神社祇園祭 (6月6日・7日)



▶猪のタケノコ掘りの裏側



▶愛宕山や猪のタケノコ掘りなどを上演



今年は試行的に8月から6月に前倒しして開催された、波々伯部神社の祇園祭。「丹波の祇園さん」とも言われ、神様に無病息災を願う祭りです。7日に行われた本宮はあいにくの雨に見舞われ、山車の巡行は見送られましたが、今年は3年に一度の「デコノボウ」の奉納の年。本来はキウリヤマと言われる曳山の上で演じられる人形劇ですが、人形が雨に濡れないよう拝殿の中で奉納されました。神様に向けて1回、観客に向けて複数回演じられ、普段は見られない舞台の裏側を垣間見ることができた、貴重な機会となりました。